

(別紙4(2))

事業所名 グループホームいこいの家

目標達成計画

作成日: 平成 28年 10月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	○利用者同士の関係の支援 利用者個々の症状の違い、生活歴の違いでの格差があり全員に平等なサービスを提供することが出来なくなっている。	利用者それぞれの残存能力に応じた、サービスを提供する支援に切り替えて、一人一人の能力を低下させないように対応して行くこと。	自力歩行が可能な方、カートや歩行器使用で歩ける方、車いすでなら外出出来る方に別けての外出支援や混合での外出など、スタッフを振り分けてレクや喫茶、買い物等々取り組んでいきます。	6ヶ月
2	45	○入浴を楽しむことが出来る支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援は望めなくなっている。	見守り程度の方なら夏場の自由な時間のシャワー浴や冬場の就寝間際での入浴は開所当時は出来たのですが重度化に伴って出来なくなった現状の再認識と打開策の検討	職員会議、研修等を通じての意識改革、モチベーション、スキルアップを図りグループホームとしての支援の在り方を再認識、再確認して意識向上に努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。